

知的財産活動

知的財産活動

新たな中期計画とガバナンス体制

2023年5月に発表した当社の新経営戦略に連動して、知的財産部門では新たな中期計画を策定しました。この中期計画は、経営陣による承認を経て、現在実行段階に移行しております。

当社の知的財産部門は、2021年よりグローバル法務部門の一組織として再編されました。一方で、発明の源泉を生み出す研究開発部門に対してもレポートラインを有しています。このような組織体制のもと、中長期のイノベーションに対する知的財産投資の強化に向けて、CTO(Chief Technology Officer)と定期的な議論を重ね、フィードバックを受けて知的財産活動の最適化を図っています。さらに、法務担当責任者は年1回、取締役会に対して活動報告を行い、必要に応じて適切な対応を講じています。

このようにして、当社では経営側が知的財産活動をモニターする体制を構築しております。さらに、知的財産部門の中期計

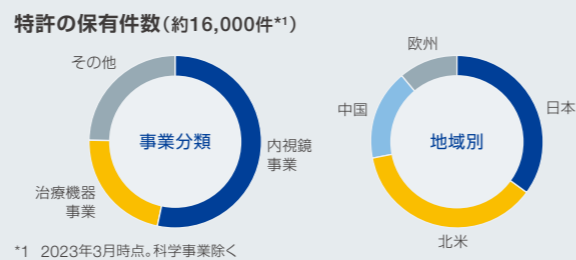
画のもと、知的財産管理の国際規格(ISO56005)を遵守する仕組みの構築を進めており、さらなるガバナンス体制の強化に取り組んでいます。



医療分野の特性を踏まえた知的財産への成長投資

当社は知的財産に関して、2023年4月の科学事業の譲渡に伴い、今後は内視鏡事業および治療機器事業を中心とした医療分野に特化した投資を行っていきます。特許の出願は、内視鏡事業における競争優位性の維持を図り、成長ドライバーである治療機器事業では競争優位の確立を目指します。競争優位を戦略的かつ効率的に実現するために、戦略的事業計画で承認された内視鏡事業と治療機器事業のすべてのプロジェクトを俯瞰し事業との議論を通じて出願投資の割り当てを決定する業務プロセスを導入しました。また、内視鏡事業および治療機器事業の特許ポートフォリオ管理を地域横断的に行う専門機能を設置し、特許ポートフォリオをグローバルで一元管理できる体制を構築しました。さらに、M&Aを通じた特許ポートフォリオの拡充を見据え、米国に設置された事業開発の専門部門をデュペリ

ジェンスの観点でサポートする知財機能を強化しています。戦略を慎重に考慮し、高成長領域へ投資のシフトを進めることにより、特許1件当たりの「強さ」を継続的に向上させ、欧米系の同業他社との差を急速に縮めています。引き続き、当社の持続的な成長に資する特許ポートフォリオの構築を目指して取り組んでまいります。



*1 2023年3月時点。科学事業除く

ケア・パスウェイの強化に向けた知財インテリジェンス

特許分析の専門チームは、2022年に、20以上の部署に対して、事業情報に知財情報を組み込んで現状を俯瞰した結果や将来の展望をIPランドスケープとして提供し、事業戦略の構築に貢献してきています。経営戦略に挙げられた、「ケア・パスウェイの強化」に向けて、ケア・パスウェイ(早期発見から予後)全体を俯瞰して疾患に関わる事業環境分析を実施しています。

これにより、ケア・パスウェイに対するインサイトの獲得を可能としており、特に診断や治療以外の新しい領域に対する理解を深められるようサポートしています。

このような事業環境分析から得られる知見を、疾患戦略やテクノロジーロードマップといったハイレベル戦略へ反映できるように取り組んでいます。

地域／部門横断的な知的財産機能の強化

地域を跨いだグローバルな製品開発やプロジェクトを推進するため、知的財産部門も各地域が連携して業務を進めております。従来、地域ごとで異なっていた業務プロセスや案件管理システムを調和・統合することで、グローバル全体での品質向上・管理効率化・コストの削減の実現を目指しております。

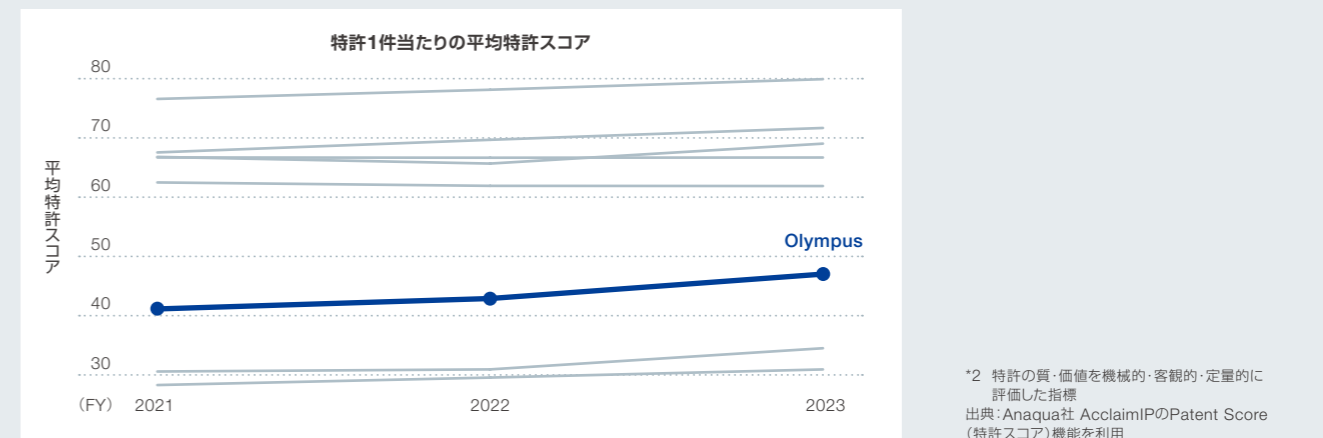
知的財産部門にとどまらず、事業部門、研究開発部門に対してもグローバルに知財トレーニングを提供し、地域や部門を超えた知的財産機能の強化を進めています。例えば、事業部門に

対しては、戦略策定などにおいて重要な知的財産に関するリテラシー向上に向けたプログラム、研究開発部門に対しては、発明提案の高品質化を目指したプログラムを提供しております。

さらに、経営戦略の一環として、M&Aにより買収した企業に対しても、当社の知的財産部門と有機的に機能させることを目指し、業務プロセスや規程を統合させることで、ガバナンス体制の構築に取り組んでいます。

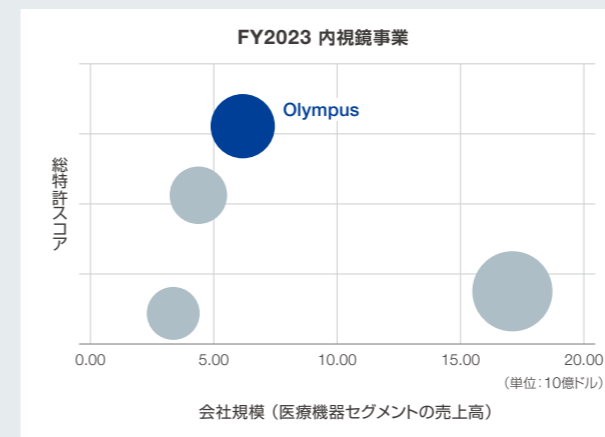
同業他社と比較した特許スコア*2の分析

➤ 全体的な傾向として、当社は特許1件当たりの平均特許スコア(強さ)を急速に向上させている。

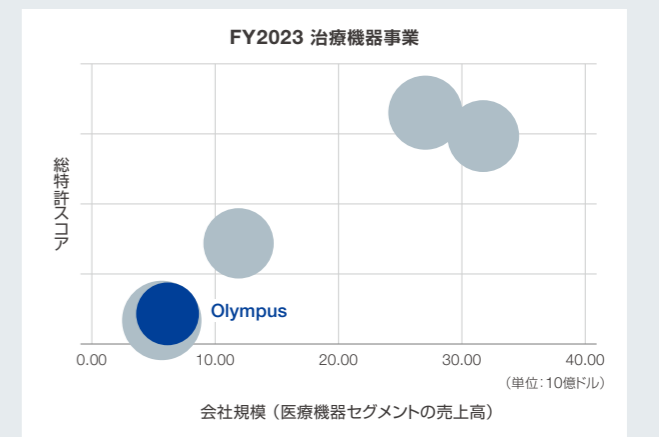


*2 特許の質・価値を機械的・客観的・定量的に評価した指標
出典: Anaqua社 AcclaimIPのPatent Score (特許スコア)機能を利用

➤ 内視鏡事業は、同業他社に対する競争優位にあり、この状況を維持できるようにする。



➤ 治療機器事業は、より強い特許を獲得するための取り組みを加速することにより、会社規模の成長とともにグラフの右上方向へ移行できるようにする。



バブルのサイズ: 平均特許スコア